

【訪問記】美しい空が広がる『ブルームガーデン のぞみ野』

1月27日金曜日、電線類地中化で美しい街並みを実現し、兵庫県の第13回「人間サイズまちづくり奨励賞」を受賞した「ブルームガーデン のぞみ野」を訪れ、新日鉄都市開発(株)姫路事業所・豊嶋建史開発企画グループリーダーにご案内頂きました。

山陽本線はりま勝原駅からゆっくり歩いて15分、目指すコミュニティハウスに到着すると、豊嶋リーダーの素敵な笑顔に迎えられ、のちに集会所となるホワイトで“街づくりのコンセプト”について説明を受けました。その後、二階のミーティングルームに移動し“ランドプランの街並み模型と電線類地中化のモデル”を見学しました。

電線類地中化は、電線共同溝方式で道路敷きを占用し姫路市に移管されます。

電力はCCVPΦ100mm×4条、通信は共用FA方式・ボディー管一体方式(1管セパレート管)を使用した第三代型電線共同溝方式で、関西で初めて採用されています。通信関係は、姫路CATV、NTT光ケーブル、eo光(ケイ・オプティコム)、NTTメタル用、予備管で構成されており、住宅1戸当りのコストは電力会社の負担金を含めて150万円程度とのことでした。

ヴィジュアルシアターに場所を移して「ブルームガーデンのぞみ野」のプロモーションビデオを拝見、そして現地を案内頂きました。

現地は3期に分けて分譲され、今回は1期分譲地を案内頂きました。2期工事は二次造成工事中、3期工事は一次造成工事中でした。

豊嶋リーダーのお話を要約すると以下のようです。

1. 街づくりのコンセプトは、“美しい街”“ふれあい・育てる街”“安全・安心な街”
 - ① エントランス(町への進入路)を5か所に絞り通過交通を抑制する
 - ② オープン外構を採用し隠れ空間を排除して防犯性を高める
 - ③ 車道の一部を緑地帯として再整備拡幅し、照明を設置するなど安全・快適性を高める
 - ④ 歩行者と自転車だけが通行できるフットパスを要所に設置し交通弱者に配慮する
また、地上機器の設置場所になっている。
 - ⑤ 地球環境に配慮し、LEDの防犯灯・街路灯を採用する
 - ⑥ 既存のKOBANを街区内に移設し安心感を高める
 - ⑦ 暮らしを支える“コミュニティーマネージャー”を配置し、暮らしを手助けする
2. 明海大学不動産学部齊藤広子教授をマネジメントプロデューサー、アーバンセクション代表二瓶正史氏を景観プロデューサーとして招き、地域計画・景観協定・街づくりルールなどを指導頂いた。
3. 住む人々は自治会同様、すべてが「のぞみ野団地管理組合」「景観協定運営委員会」のメンバーとなり、ごみステーションの清掃や植栽管理など地域サービスを「管理会社」に委託、またコミュニティーマネージャーを置き、街の巡回やコミュニティーハウスでのイベントのサポートを行う。これらの費用は月4000円を各戸で負担し重要事項説明書(以下『重説』と略記)に明記し資金面を担保する。
4. 「景観協定運営委員会」は建築計画や外構計画が景観協定に合致しているかを審査するが、計画審査は「管理組合」が代行する。景観協定は『重説』で担保する。
5. 道路用地として幅員10mを確保し、両側2mは植樹帯、道路は実質6mとし玄関先が広く、ゆとりを感じられるよう工夫している。
6. 太陽光発電は70%の家庭が導入することを前提に電力計画を作成しているが、電力会社とは95%の入居時に負担金を清算することとしている。なお、地上トランス容量不足の場合を想定し、予備のスペースを各地上トランス横に準備している。
7. 各戸の門柱は統一し、上部にLED常夜灯を設ける。(『重説』に記載)
8. 電力の宅内引き込みは、統一したBOXを設け、販売前に設置完了する。
9. 消火栓・防火用水は街路灯配置計画と整合させ、標示板を街路灯に集約した

以上が要旨ですが、共有地に地上トランスを設置するなど、ゆとりある設計思想が隅々まで行き届いており、新日鉄都市開発(株)様の思いが痛いほど伝わってまいりました。

「美しい空が広がる電線類を地中化した街並みのあるべき姿とは」という問いに対する一つの答えを示している街並みであり、電線類地中化に関わるものとして訪問する価値がある街並みではないでしょうか。(文責：山岡)



「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第42号

発行日:2012年2月25日(土)

発行者:NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【活動報告】2012年1月27日理事会(COM 計画研究所)

■報告事項:オブザーブ/(株)アスコ 楠本氏

事務局 山岡氏

高田理事長急用のため欠席

■委員会報告■

◆技術開発委員会

・1月16日「目白まちづくり協議会」でプレゼン。25日は井上事務局長が講演予定。パネル展示も同時開催。
・アスコさんの3次元測定技術をほかでも応用するための勉強会を開催予定(山本理事)

◆世論形成委員会報告

・2月27日のセミナーは大和ハウス柴垣様・積水ハウス土井様に講師を依頼。住宅メーカーの電線のない街づくり事例紹介をしてもらう。

◆事業協力委員会

・T市設計監理業務:進行中、管路の配管は終了。
・K市:2月8日14時～16時で商店街・役所の方が集まる電線類地中化勉強会で講演予定
・H村:電線を無くしたいという問い合わせがあった。対応中
・新日鉄都市開発が開発中の電線類地中化の街「ブルームガーデンのぞみ野」を視察。

■東京でのNPO活動について

2月早々に東京の会員さんで集まって、今後の動きについて協議。

■今後のセミナーについて

6月が総会月なので、総会後にセミナーを行う。日程は6月22日(金)

■2月理事会の日程

2月27日(金)14時から理事会 セミナーの前に同会場にて開催する。



✍️ [エッセイをお寄せください。] ✍️

皆さんが日本の電柱・電線社会の現状について感じられていることをエッセイとして綴り、お送りください。本会報の【随想】欄に掲載させていただきます。

1000～1500文字、簡単な自己紹介(お仕事、住所等)とポートレット(顔写真)を添えて下さい。送付先はE-Mail: info@NPONPC.org です。投稿をお待ちしています。

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 井上、志熊、根井、西川、西條

NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク事務局 (株)ジオリゾーム内 根井 井上
Mail: info@NPONPC.org, <http://nponpc.org> Tel: 072-653-5811 Fax: 072-653-5833

小金井市「先進事例に学ぶ未来志向型商店街」連続セミナーで講演

事務局 山岡

日時：2012年2月8日(水曜日)

14時~16時

場所：小金井市商工会館2階会議室

講師：井上事務局長

株式会社全国商店街支援センターが主催、武蔵小金井駅北口再生協議会が実施する「先進事例に学ぶ未来志向型商店街」連続セミナーで、井上事務局長が“電柱のない安全安心で快適な美しい商店街づくり”をテーマとして講演しました。

小金井市には武蔵小金井駅と東小金井駅周辺に商店街が展開しておりますが、近年は近くの吉祥寺、立川や新宿に買い物客を奪われ売り上げ低下が続いております。またJR中央線の高架化に併せて、JR東日本が両駅の高架下に“中央ラインモール構想”のもとに商業施設の設置を計画しており、既存商店街の「地域コミュニティーの担い手」としての立場が危うくなってきております。

武蔵小金井駅では駅を境に北口地区と南口地区に分かれておりますが、南口地区の再開発は既に完了しており、バスターミナル及びイトーヨーカドーをキーとした店舗街が整備され、通勤客やマイカー族で賑わっております。

一方、北口地区は街づくりの検討段階で、旧来の商店街や駐輪場など混然とし南口地区と好対照を演じております。北口地区には六つの商店会があり武蔵小金井駅北口再生協議会を設けておられますが、「回遊性」を考えた街づくりをコンセプトに全ての通りで無電柱化が計画されております。協議会の皆さんは、このままでは北口地区の商店街がさびれていく一方であり、日用品の街から若者を引き付ける街への変貌を遂げたいと思ひから、熱意あふれる取り組みを展開し東京都や小金井市へ働きかけを続けてこられました。今回の講演会は、他地区の先進事例を学ぶことで自らの街づくりに活かそうという目的で企画されました。

講演は、①当NPOのあらまし②潜在する商店街の3K問題③賢い生活者が求める商店街のイメージ④電柱のない美しい商店街をめざして⑤電柱のない街づくりの実例について、2時間にわたり井上事務局長が熱く語りかけました。最後に井上事務局長は「街づくりはフロンティアにしか出発できない事業であるし、常にフロンティアでないと続かない」と、武蔵小金井駅北口再生協議会の皆様の更なる奮闘に期待する言葉で講演を締め括りました。質疑の時間では、補助金の問題や電力会社との関係に関する質問、今後地中化を進めていくうえで当NPOへの支援協力の要請などがあり、協議会の皆様の街づくりへの思いがひしひしと伝わってまいりました。

講演後の懇談では、現在街づくりを進めている人たちは比較的年齢層が高いが、若手の参加が増えてきており頼もしいと話されておりました。

武蔵小金井駅北口再生協議会が知恵を絞り「回遊性」ある街づくりが実現し、幅広い年齢層に愛される北口地区が生まれることを念じて止みません。

当NPOも引き続き支援することを約束して別れました。



【無電柱化を考えた方が良く考える地域の实情】 京都女子大学 阪口 愛 京都 新町通り

京都では7月1日から一ヶ月間、日本三大祭りである祇園祭が京都中心部で行われます。山鉾の中には、すでにある架空電線よりも高いものがあり、架空電線が道路をまたいで引かれている場合、巡行する時に真木や鉾の屋根が架空電線にひっかかるのではと疑問を持ちました。大通りは道幅が広く、架空線も道に沿って引かれているためさほど問題になりませんが、道幅が狭い通りでは巡行に困難が生じるのではと考えました。

電線が問題になるのは、各山鉾が細い通りを通過して新町御池に集まる時と、全ての山鉾が新町通りを通過して解散場所に向かう時だと予想し、宵山と山鉾巡行の日に新町通りと室町通りの山鉾を見に行き、山鉾関係者にヒアリング調査を行いました。

新町通りについては、電線類地中化はされていませんでしたが、道路をまたいで架空線はありませんでした。最後に全ての山鉾が通る道であるため、考慮して道路をまたいで引き込みを行わないようにしているようです。新町通りは北観音山のみヒアリングを行いました。

北観音山

「無電柱化をしようという動きはないのですか？」と伺ったところ、「電線がなければいいとは思いますが、みんなそんなに気にしていない。なんせ京都人は無理にどうしようとしなからね。電線があるならそれをよければいい。ひっかかりそうな電線は巡行の日だけ電力会社に頼んで高さを調節してもらっているからそれで解決している。巡行の日以外は特に何の不自由も感じていないから一日だけのために地中化をするっていうのもね。」というお答えが返ってきました。

無電柱化に対する意識が住民の方の中にあまりなく、無意識に視界に入らないようにしていたり、気にしていなかったりする人が多いということが分かりました。無電柱化を推進していくには、電線は地中化できるということを多くの人に知ってもらって、地中化のメリットを提示していくことが大事だと感じました。

今回は室町通りについてお伝えします。



当NPOではメールマガジンも配信しており、電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！ぜひこちらにもご登録ください！

→ <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>

